

| コース名 | | 科目名 | | 選択科目名 | | 対象学年 | | |
|--|-------|------------|----|----------------|-----|-------------|--|--------|
| 良医の礎 | | リベラルアーツ選択Ⅰ | | メディカルイラストレーション | | 1 | | |
| 開講学期 | | 科目責任者 | | 選択科目責任者 | | 全体資料 | | |
| 2 学期 | | 泰山 浩司 | | 横田 ヒロミツ | | 無 | | |
| 授業到達目標 | | | | | | | | |
| <p>人体臓器描画のための鉛筆を使った基礎造形力を身につけるとともに、観察眼が向上する。 単純な線によるデフォルメ表現ができるようになる。 3DCG を使って臓器を PC のなかで作ることで臓器のフォルムの立体的把握ができる。 無料 CG ソフトをインストールしてもらい、今後いつでも使えるようなスキルを身につける。 自分で制作したイラストを使った見栄えの良いポスターデザイン力が身につく。 メディカルイラストレーションの歴史を学ぶ。 3DCG や 3D プリンターなどのテクノロジーの先に見えるメディカルイラストレーションの可能性を知る。 医学の対象が人体であるため、その立体的捉え方は不可欠であり、生涯学習の一つとしてメディカルイラストレーションを考 えるようになる。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| 回数 | 月日 | 曜日 | 時限 | 区分 | 担当者 | 所属 | 授業内容 | コアカリ項目 |
| 1 | 9/ 4 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 授業のオリエンテーションとして、メディカルイラストレーションは医学研究に欠かせないものであることを認識してもらい、視覚的イメージは医学研究のビジョンも広げる可能性を持っている。 | A-4 |
| 2 | 9/18 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 鉛筆を使っての形の捉え方のコツをレクチャーし、メディカルイラストレーションを模写。 | A-4 |
| 3 | 9/25 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | メディカルイラストレーションの歴史と現状を通し、医は仁術であることなど、倫理教育の基礎となる思いを確認する。 | A-4 |
| 4 | 10/ 2 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 臓器写真を見ながらの鉛筆スケッチ。 | A-4 |
| 5 | 10/ 9 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 臓器の立体感や質感の表現をめざして鉛筆スケッチ。 | A-4 |
| 6 | 10/16 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 続いた線で困むことで臓器の各部位をしっかり把握し、メディカルイラストレーションの本質をつかむ。 | A-4 |
| 7 | 10/23 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | MM の液浸標本を見て鉛筆スケッチをおこなう。スケッチをしながら臓器を見ることで観察眼がレベルアップしていることを体感する。 | A-4 |
| 8 | 10/30 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 前回描いた鉛筆スケッチに、練り消しゴムをつかい光を加筆することを学ぶ。 | A-4 |
| 9 | 11/ 6 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 2DCG を使って鉛筆スケッチに着色し、2DCG で質感や血管などを加筆する。 | A-4 |
| 10 | 11/13 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 3DCG を使って、臓器の大きな形をとらえて制作。あらゆる角度からの見え方において整合性がとれないとならず、さらにレベルの高い観察眼が必要であることを体験する。 | A-4 |
| 11 | 11/20 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 3DCG を使って、臓器どうしの位置関係や大きさの把握をめざして組み上げる。 | A-4 |
| 12 | 11/27 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 制作した臓器 3D データを 3D プリントする様子を確認し、3D の優位性を知る。 | A-4 |
| 13 | 12/ 4 | 水 | 1 | 講義 | 横田 | 非常勤/ 医福大 | 視覚表現の有効性を、具体的な例をとおして知る。また、伝えるための最低限のデザイン基礎知識を学ぶ。 | A-4 |
| 評価方法 | | | | | | | | |
| <p>[レポート]25% (視覚伝達の理解度をはかる。) [実習点]25% (授業の成果物を評価する。) [出席状況 (受講態度)]50% (クリエイティブな能力の上達速度には個人差が大きいので、授業に臨む態度と出席状況を重視する。) [評価方法]出席・受講態度評価、その他 [備考]段階を追っての指導ゆえに休むと理解が難しくなるため、出席と授業態度を重視する。居眠りは減点する。</p> | | | | | | | | |
| 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて | | | | | | | | |
| 添削後、コメントを付して返却する。重要な項目については、講義内で解説する。 | | | | | | | | |
| 教科書 | | | | | | | | |
| (特になし) | | | | | | | | |

| 参考書 |
|---|
| <p>第 76 回日本臨床外科学会総会メディカルイラストレーション特別展パンフレットを配布 はじまりは久米桂一郎から展 ทางการแพทย์アート&イラストレーションの歴史と現在のパンフを配布</p> |
| 準備学習（予習・復習等） |
| <p>事前に絵画やイラストを、ウェブを使って検索し、そのバリエーションを調べてもらうことがある。 インフォームドコンセントのための臓器の特徴を捉えたシンプルな線画制作など、予習課題を出すことがある。 この講義は復習を重視する。演習の後は自主的に繰り返し復習をすること。 予習課題は 30 分程度を要する。復習は自主性に任せる。</p> |
| 講義についての注意事項 |
| <p>グループごとに課題をしてもらい、その発表もしてもらうことがある。 自分のノートパソコン（Win、Mac どちらでも OK）とマウスを授業に持ち込めることがこの授業を受ける条件となる（5 回程度）。 4B 鉛筆 1 本、カッター、ティッシュを各自用意。 授業の 5 回目あたりまでに、CG メディカルイラストレーション制作で使う無料ソフトを 2 つ、各自のノートパソコンにインストールしてもらう。 受講生が 4 人未満の場合は開講しない。教室の都合上募集枠は 14 人までとする。 授業で制作したメディカルイラストレーションは、日本メディカルイラストレーション学会へポスター発表する。</p> |
| 昨年度からの変更点・改善項目 |
| <p>鉛筆を持って実物の臓器標本に向き合うことで観察眼が向上することを体感し意識できるようにすることに重点をおく。今年度はメディカルミュージアムが改装工事のため、川崎医療福祉大学医療福祉デザイン学科の教室を使用するが、メディカルミュージアムの標本は使用する。 描画、造形については、できるだけ論理的解説でわかりやすい指導をおこなう。3DCG による臓器制作もおこない、3D プリントも体験してもらう。視覚表現能力が、後に医師としてのアドバンテージになるような授業を目指す。</p> |
| 学生の受け入れ方針や卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について |
| <p>メディカルイラストレーションの学びに真摯に取り組む意欲のある学生を対象とする。描くことが得意でなくても、絵が好きであれば対象学生とする。絵が嫌いな学生は対象としない。出席していても居眠りなど不真面目な態度では評価することはできない。本科目の履修により空間認識力や観察眼に対する気づきが期待でき、人体各臓器の構造の立体的理解を深めることができる。</p> |
| ナンバリング |
| GLLA110 |